

パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2010年4月1日

79号



大山氏、中田所長、古市君（支流の水が乾き出来的た土地で収穫したかぼちゃの前で）

昨年、第四の橋をかけ、一〇キロを超える奥地に、支流の水が乾き六ヶ月にわたる乾季の期間、豊かな川の水が運んでくる栄養を含む畑に作物が出来ました。昨年、十一月頃に播いたかぼちゃ、トウモロコシ、マンジョーカ（イモ）、タルタゴなどが豊かに実りました。一月十六日に水が上がって来ているということで、陸路駆けつけて、かぼちゃの収穫をしてきました。連日の雨で翌十七日は、支流の水位が急速に上がり、労働者が二隻のボートで出かけて、大量の力ボチャやトウモロコシ、さつまいもを収穫してきました。ボートは途中からエンジンを止めて上にあげ、カヌーのように櫂を使つて巧みに水草をかき分けながら手漕ぎで進み、大群の蚊の襲撃をものとせず、畑に上陸して収穫してきました。畑も一部は既に水没し、かぼちゃがポカポカ浮いていたそうです。もう少しするとトウモロコシの実がしつかり実り、その時の収穫は、更に水位が上がり、ボートでそのまま横づけしながらトウモロコシをもぎ取る作業となるでしょうと中田所長も言つておりました。これぞ誰も試みたことのない不毛の地を収穫の地に換えるパンタナール農耕として有名になるのではないかと希望に顔を輝かせているレダです。収穫の様の写真が無いのが残念ですがじっくり想像してみてください。行けそうにも無いと思われたあの水草をボトトで分けて進み、蛇やワニがいる水の中を恐れもせず飛び込んでも、作業してくる現地労働者の姿に「いいやー、今回は本当に敬服した。」としみじみ所長も語つてみました。（飯野記）



支流の水が乾いた後の土地にマンジョーカを植える。

レダを視察する人々（オリンポ市、アスンション市、バイアネグラ市から）

レダ下流九十kmに位置する州都オリンポ市にあるカソリック教会の司教がパラグアイ川沿いにある村々を研修生とともに訪問中、レダの実験農場を視察したいと立ち寄つて行かれた。レダの教育施設、農場、植林の状況を見て感動し、今後、施設を使っての教育にも関心を持つておられた。



レダ上流九十km近くバイアネグラ市に駐屯する海軍の司令官が家族とともに訪れた。バイアネグラの海軍はレダを含むパラグアイ川の流域の安全とボリビア、ブラジルの国境の警備を担当している。十年前、レダ開拓を始めた時、すぐに海軍の駐屯所を作り、軍に奉獻、バイアネグラの海軍司令部から二人の担当官を送つていたがまだ海き、レダの安全を確保され、レダはがだな近隣で最も安全な場所となつてている。



軍の駐屯所を作り、國に奉獻、バイアネグラの海軍司令部から二人の担当官を送つていたがまだ海き、レダの安全を確保され、レダはがだな近隣で最も安全な場所となつてている。



パラグアイで奉仕活動をし、働いている日本人の方々が是非、パンタナールを体験したいとレダを訪問してきました。パラグアイの各地を今まで訪問したがパラグアイの中に、こんなにも素晴らしい観光資源があることに新たな発見をしたと感動していました。レダの活動の一つの大きな目的がパンタナールの素晴らしさを紹介し、自然を保護していくことの大切さを実感してもらうことがあり、今回のパラグアイにいる日本人の方の訪問を通してより多くのパラグアイの方々にも働き掛けることの必要性を感じさせました。



第10回国際協力青年ボランティア隊隊員募集

(2010年8月25日 9月10日)

南北米福地開発協会では、日本の若き青年指導者たちが、海外における奉仕活動やグローバルな体験を通して、社会奉仕や異文化の理解を学ぶ機会を提供するとともに、南米、パントナール地域のインディヒナの子供たちの教育向上に毎年、国際協力青年ボランティアを行って来ました。

今年は当協会で学校を建設したインディヒナマヨ村の学校環境の向上のため、学校の周囲に樹を植える植樹作業と学校修復ならびに教育資材の支援、そしてボリビア国境に近いバイアネグラ市において現地の学生とともに市の植樹活動を行うことになりました。日本からの青年学生の参加者は8-10名を送る計画です。ふるってご参加ください。

下記にある募集要綱を必要な方は事務局に連絡ください。



第10回奉仕隊は害虫が嫌うニームの樹と栄養補給に効果のあるモリンガ(写真)の植林も行うことになっています。

第10回国際青年奉仕隊募集要綱

期間：2010年8月25日(水)～9月10日(金)

8/24(火)：オリエンテーション・研修を行います。

8/25成田発 後日、参加者にスケジュールの詳細を通達。

活動場所：パントナール地域：マヨ村、バイアネグラ市

活動内容：マヨ村植樹と学校修復とバイアネグラ市で学校生徒代表等と共同植樹活動及び文化交流、レダにて奉仕活動、自然探訪、学習会、乗馬、釣り体験

参加資格：18歳以上25歳まで(健康に自信のある男女)

参加条件 小論文(400字以内)提出

テーマ：「参加の動機及び将来の夢」 提出期限：6月30日

提出先：南北米福地開発協会(FAX・Emailも可)

小論文に各紹介者の推薦文を添付すること

合格発表：7月5日 直接該当者に連絡致します。

募集人数：8-10名

参加費用：15万円

成田 アスンション往復航空チケット代は主催者が支援いたします。

(小遣い、海外保険、家から成田までの往復費用などは個人負担)

申し込み及び問い合わせ先：南北米福地開発協会事務局

担当：柴沼 TEL:044-829-2821

FAX:044-829-2820

Email: office@asd-nsa.jp

南北米福地開発
協会会員の募集

地球家族として
自然を守りましょう

会費は月五〇〇円、毎月、
パンタナール通信を送ります。
また、
各種のセミナー、エコツアーや
等の案内をいたします。
その地域をモデルとし、
世界に環境保護の大
切さを訴えています。

南北米福地開発協会 事務局
〒二二三一〇〇〇一
神奈川県川崎市高津区
溝口二丁目十一十五
岩崎ビル四F
○四四一八一九一一八二一
八一九一一八二一〇一
○一七七六八〇四七一
郵便口座
代表 柴沼邦彦
ホームページ
E-MAIL office@asd-nsa.jp
http://www.asd-nsa.jp